

MIYOSHI FINDER

2018年11月に始まった三好市公式インスタグラム(写真投稿型 SNS)の企画ハッシュタグ #MiyoshiFinder (みよしファインダー)の投稿数が1万を超えました。市民や観光客、写真家の皆さんが投稿した写真を、毎月の市報や三好市公式インスタグラムなどで紹介しているものですが、今月号では1万投稿を記念して、これまでに投稿された写真を紹介させていただきます。

みよしファインダー Miyoshi Finder とは?

インスタグラムで、三好市内で撮った写真に「#MiyoshiFinder」をタグ付けて投稿すると、三好市公式インスタグラムで紹介をする企画ハッシュタグ。

集まった投稿写真は、三好市公式インスタグラムのほか、市報やケーブルテレビ、ポスター等でも紹介するなど、多方面で市のPRに活用されています。

インスタグラムをしている方は、三好市公式アカウントをフォローのうえご参加ください。

また、三好市公式インスタグラムでは、旬の情報なども随時発信していますのでぜひご覧ください。



@kaitan7080 塩塚高原



@takemochi.y 剣山



@lilico218 塩塚高原

「祖谷のかずら橋」や「大歩危・小歩危」など観光入込客数が多い場所とは違う、インスタグラムならではの映える人気スポットがあります。それが「塩塚高原」「剣山」「ハレとケ珈琲」などで、人物が写り込んでいる写真が多いのが特徴です。



←左のQRコードからインスタグラム三好市公式アカウントがご覧になります



@bluemoon.0408 剣山



@shi_sako ハレとケ珈琲



@itukushimi ハレとケ珈琲

【みよしファインダーの始まり】
これまで三好市が対外的に行うプロモーションでは市が主催するフォトコンテストの入選作品を使用していました。そこには素晴らしい風景写真がたくさんあるのですが、逆に言うとうまく風景写真しかなかったんです。
そこで、インスタグラムで見ると、行ってみたい・写真を撮ってみたい・体験してみたいと行動を促すことができないか、また行政からの一方的な広報ではなく市民が参加できる企画が何かできないかと考え、市民参加型企画の「みよしファインダー」が始まりました。

【三好市のPRに参加】
「みよしファインダー」は、市民・観光客・写真家等の投稿者がいつの間にか三好市のPRに参加して、このことが三好市の関係人口増加や、シビックプライドの醸成に繋がっています。
また、よりたくさんの方が「みよしファインダー」に参加することで、さらにたくさんの方にSNSを通じて三好市の情景が拡散されることになっています。

【新しい発見】
三好市内だけではなく市外の方にも「みよしファインダー」は知られ、タグ付けられた投稿が増えました。このことで三好市公式アカウントのフォロワーが増え、三好市へ写真を撮りに来てくれる方がさらに増えています。
市民皆さまからは「市内にこんな素敵な場所があるんですね」などの声も多く寄せられるようになりました。
また、「みよしファインダー」を見ることで、市内で人気のスポット、新しい撮影スポットの発見や、花の開花など最新の情報を容易に入手することができるようになりました。これは私たち三好市民が地域の魅力を再発見することに繋がっていると感じます。

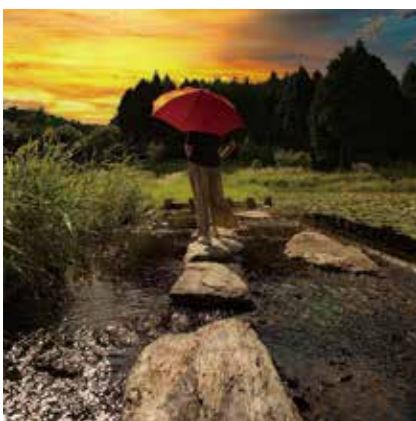
みよしファインダーの運営メンバーがこれまでの記憶に残る写真



@kunihito_ohtsuboさんの坪尻駅の写真です。時間が止まったかのような秘境駅。このまま列車に乗ってゆっくり旅を試してみたいくなります。



@akira_1972_さんの写真です。雨の日でも色とりどりの紫陽花を見ると晴れ晴れとした気分になれます。



@masa_gram31さんの写真です。夕日に映える黒沢湿原。まるで絵画のようですね！



@ukari913さんの写真です。カラフルな風船と高く伸ばした手。晴れやかで明るくて勢いがある、こちらも楽しい気持ちになれます！



@moco.kozuさんの写真です。ワンちゃんから見える桜はどんな風なのかなあと、想像を巡らせてしまいます。



@doi_natsumi_さんの剣山山頂の写真です。どこまでも続く雲海に吸い込まれそうな、神秘的な写真に胸が高鳴ります。一度は生で見てみたい景色です。



@smys__aさんの塩塚高原の写真です。牧歌的な景色の中で、2人の幸せが溢れていてこちらも幸せな気持ちになりました♡



@rs.0521さんの霧氷を纏った枯れ紫陽花。梅雨に咲くものではなく、見方を変えるだけでステキな情景になると教えてくれました。

【企画推進上の工夫】
 インスタグラムは写真で雰囲気を掴んでもらうもので、文章を読んでもらうものではなく、1秒で感じてもらうものです。そのため、たくさんの方に楽しみにされ見てもらうために、投稿画像のクオリティを高くする必要があります。また、様々なジャンルの写真が投稿されていますので、紹介する写真が偏らないようにしなければなりません。
 そういった課題を克服する工夫として、三好市インスタグラムでは、広報担当だけではなく、市役所内で写真に興味がある、所属や役職も関係ないメンバーで運営をしています。このことは、職員一人ひとりが三好市の広報をする、魅力を発信する、という意識改革に繋がっています。

【新スポット発見】

三好市民でもあまり知らなかった映えスポットがたくさんあります。それは、観光地ではないけれども写真家が多く集まる場所で、Instagramだからこそ発見した地元の新名所です。例えば「馬場展望台」や「山城町信正の桜」などです。どちらも早朝から夜中まで県内外から写真家が集まって来ています。同じ場所でも時間によって見える地域の暮らしや星空、季節によって見える雲海など、様々な表情を見せてくれます。

【馬場展望台】



@kawazoekeita



@_yuasa_masami_



@renriku

【山城町信正の桜】



@every222



@maro_nagashi



@risa_family

【人を感じる写真】

Instagramならではの人物が写っている写真は、旅やカメラ撮影を楽しんだ記録です。見慣れた市内の観光地もInstagramで見ると、より行ってみたい、体験してみたい、と思わせてくれます。



@tirajai



@kyoko1903



@niko_niko808